

東御市
社協報

ほほえみ

66号

平成27年9月16日発行

編集発行 社会福祉法人
東御市社会福祉協議会
長野県東御市鞍掛197
(総合福祉センター内)
TEL (0268) 62-4455
FAX (0268) 64-5695
<http://www.tomisyakyo.or.jp>
印刷 (有)グリーン美術出版

社協報「ほほえみ」の名称は明るく夢をもって笑顔で暮らせる地域の福祉づくりを進めていくことから名づけられました。

- 赤い羽根共同募金運動がはじまります！
- 第5回東御市社会福祉大会ひらく
- 社協会費ご協力ありがとうございました
- おらほのサロン
- ボランティアセンターかわら版

東御市社会福祉大会



多世代交流サロン
おいでよサンサン



一日赤十字



住民主役の
支え合いの
まちづくり

男性の料理サロン



サマーチャレンジ
ボランティア
(まが玉作り)



サマーチャレンジ
ボランティア
(長門牧場で散策)





赤い羽根共同募金は、東御市の福祉に役立てられています。

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。今年度の東御市の目標額は配分計画に基づいて700万円とさせていただきました。区を通じてお願いに上がりますので、ご支援とご協力をお願いいたします。



目標額 700 万円

《東御市社会福祉協議会の配分》
524 万 6,000 円



高齢者福祉事業 118 万円

ひとり暮らし高齢者会食会
おせち料理訪問活動 他



障がい者福祉事業 28 万円

障がい者福祉のつどい
障がい者の交流会 他



児童・青少年活動 50 万 8,000 円

市内小・中・高 8 校に支援
ひとり親家庭交流支援



住民援助・広報活動 327 万 8,000 円

広報誌の発行
ボランティアグループ助成
介護の日福祉講演会・社協福祉大会他

《県内の広域事業への配分》
175 万 4,000 円

(県内の安心のまちづくり活動支援等)

募金実施方法

戸別募金 法人募金 職域募金 街頭募金

戸別募金

1 世帯あたり 1,000 円を目安にお願いしています。

お寄せいただいた募金の一部は、
下記の事業に役立てられています。

福祉協力校の活動助成



市内小・中・高の福祉教育活動に助成しています。

社協の事業紹介

ひとり親家庭交流支援事業 (共同募金配分金事業)

社会福祉協議会では、ひとり親世帯(母子・父子家庭)の交流と支援を目的に「ひとり親家庭交流支援事業」を行っています。詳細は次の通りです。

<内容は>

親子でふれあう時間の少ないお父さん、お母さんとお子さんの交流を目的にテーマパーク等へ日帰り旅行に出かけています。

<対象者は>

市内在住の母子・父子家庭のひとり親世帯で小学生以下のお子さんが対象です。

<費用は>

入場料等を実費負担いただきます。

<今年の予定は>

クリスマスシーズンに合わせて 12 月 5 日(出)を予定しています。

<申し込みは>

10 月 1 日発行市報「とうみ」お知らせ版でお知らせします。

「住民主役の支えあいのまちづくり」

～安心して暮らせる地域を育むために～

第5回東御市社会福祉大会ひらく

8月8日、中央公民館で「第5回東御市社会福祉大会」が開催されました。平成24年の開催に続き3年ぶりの大会となり、社会福祉関係者や市民ら約200人が参加しました。

バリアフリー合唱団「コールレインボー」の合唱でオープニングを飾り、小林峯雄社会福祉協議会長からは、「多様化する地域課題について、社協と地域住民が共に手を携え、住民主役のまちづくり、“お互いさま”に支えあう地域社会づくりに取り組みたい」との言葉がありました。続いて会長表彰では、地域福祉功労（1人）、ボランティア功労（6団体）、高額寄付団体（1団体）に賞状と記念品が贈られました。実践報告では、白倉征恵さん（民生児童委員・上八重原福祉運営委員長）が「“災害時支えあい台帳”でつなぐ地域の支えあい活動」と題して、災害時に向けた日頃からのご近所同士の支えあい活動の大切さについて発表しました。



▲受賞者の皆さん

表彰受賞者の皆さん（敬称略）

<地域福祉功労>

阿部 繁雄（別府）

<ボランティア功労>

お手玉花咲会

東寿会

リフレッシュマザーズ in 田中

民友会

ハーモニカクラブ

本を読む会「ほたる」

<高額寄付団体>

有限会社 雷電くるみの里

ユニバーサル座談会は、メインスピーカーに視覚障がいの広沢里枝子さんと盲導犬のジャスミン、ゲストスピーカーに視覚や心臓に障がいを持つ両角雪弥さんと高見沢心さんを迎えて、東御市での暮らしについて対談しました。

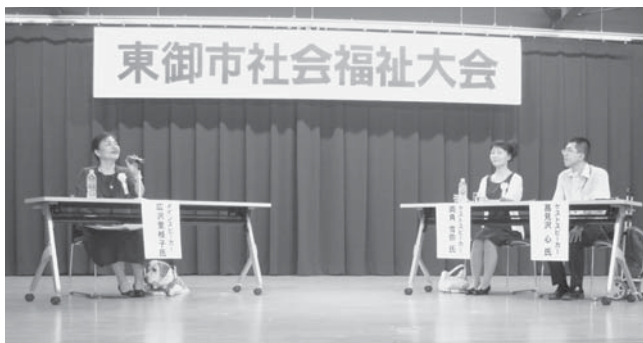
登壇した3人は、とても明るくパワフルで、前向きに生活しています。

最後に、広沢さんによる『生命《いのち》は』という詩の朗読がありました。

障がい当事者による座談会は、今回初の試みでしたが、参加者からは「皆さんの話を聞いて勇気をいただきました。これからも応援しています」との声がありました。



▲実践報告をした白倉征恵さん



▲ユニバーサル座談会



▲バリアフリー合唱団「コールレインボー」が歌う

社会福祉協議会会費

ご協力ありがとうございました

会費総額 9,495,800 円

戸別会費 7,925,800 円

法人会費 1,570,000 円

今年7月と8月に、市民の皆さんや会社等からいただいた会費は下記のようになりました。本会の福祉活動の自主財源として有効に使わせていただきます。

～法人会員 164 社～ (五十音順・敬称略)

※現在までに納入いただけてない企業等については、次号で掲載させていただきます。

I P D ロジスティクス(株)	興善寺	タバタ自動車商会	ブロンズ工業(株)
(株)アイエスパイピング	幸祐寺	(有)田村製作所	医療法人碧水会信濃病院
秋山商事	(株)ココネット	社会福祉法人ちいさがた福祉会	法善寺
浅間高原カントリー(株)	(株)コスモ熱学 東信営業所	千曲建設工業(株)	医療法人ほしやま内科
アスザック(株)	コトヒラ工業(株)	長江寺	丸協運輸(株)
(株)アヅマ	(株)斎喜屋商店	長命寺	(有)丸信産業
(株)アヅマセラミテック	佐久浅間農業協同組合	塚田自動車商会	(株)マルセイ
(株)アトリエ・ド・フロマージュ	さくら薬局	東海西濃運輸(株)	マルト東部青果(株)
(株)アメニティーズ	医療法人ささき医院	(株)東建工業	(株)ミクニ
(株)荒井設備	(有)真田化成製作所	東部開発(株)	(有)三井金属
都文館夢学園奈良原研修センター	三栄建設(株)	東部金属(株)	(有)三峰工業
(株)岩崎製作所	(株)塩沢産業	東部サッシ工業(株)	(株)御牧
(株)ヴィラデストワイナリー	(株)シャトー C P	東部自動車整備協業組合	(株)みのわや薬局
上田信用金庫とうみ支店	定津院	(株)東部設備	(株)ミマキエンジニアリング
上田第三木材合資会社	聖天寺	(株)東部通商	ミマキ電子部品(株)
上田農機(株)	(株)食品流通システム	(有)東部町コレダ 土屋商会	社会福祉法人みまき福祉会
(有)上野設備事務所	信州うえだ農業協同組合	東御市商工会	(有)宮坂住建
(株)えびす住宅設備	(株)信州ガーデン	(株)東洋石材センター石のカンノ長野支店	税理士法人宮澤会計事務所
エフビー介護サービス(株)	信州電機(株)東御営業所	(株)東和プラスチック	宮原酸素(株)
エボシ山急送(株)	(株)信州東御市振興公社	トヨタ部品長野共販(株)上田営業所	武舎煙火工業(株)
(株)オーツカ	(有)進光商事	直富商事(株)	(株)メイクワン
オリエクス(株)	せき内科クリニック	(有)ながこしカメラ	(株)メカニカル
(有)御菓子処花岡	医療法人春原整形外科クリニック	長門運輸(有)	(有)メガパスカル
(株)岡田組	(株)スワトク	長野木村鍍研材(株)	メディカルケア(株)サクラケア上田店
医療法人荻原眼科医院	(有)生体エネルギー研究所	長野県環境開発(株)	(有)森澤建業
恩田金属工業(株)	泉仁会 酒井医院	協同組合長野県中古自動車リサイクルセンター	森田建材(株)
カクイチ建材工業(株)	(株)相和	(株)長野三洋化成	(株)やおふく 東部町店
(有)カクマハイヤー	第一公害プラント(株)	(株)長野セルトップ	(株)矢島
(株)カスミ	第一防災工業(株)	鳴沢工務店(株)	柳田金物店
(有)加藤建設	(株)大地	新潟運輸(株)上田支店	(株)ヤハタ 東信営業所
かなもと青果(株)	太陽リビング(株)	日信工業(株)東部工場	湯の丸観光開発(株)
和木材(株)	(株)タイヨーエンジニア	(有)日東塗装工業	横浜中央信用組合東部町支店
(有)ガレージハットリ	大和化工(株)	八光建設(株)	(株)吉沢技研
カワダ工業(株)長野工場	(株)高木屋	(株)八十二銀行田中支店	(有)雷電くるみの里
(株)冠婚葬祭愛知グループ	高沢産業(株)東部工場	(株)馬場音一商店	(株)楽月園
北澤土建(株)東御支店	(有)竹重自動車	浜田屋	リーフケア(株)
(株)吉祥	竹内工業(株)	ヒカリ素材工業(株)	(株)リュードヴァン
(株)共栄建設	(株)竹花組東御支店	飛知和興業(株)	医療法人緑風会
(有)共栄製畳	竹花工業(株)田中支店	(株)ファスコナガノ	(有)和興開発
近物レックス(株)上田支店	(株)タック	(株)ファンケル発芽玄米	渡辺電業(株)
草軽観光 東御支店	(有)田中铁工所	(有)フジ工業	
高周波科学工業(株)	田中土建	藤田金属(株)長野コイルセンター	

～区別会費結果～

8月31日現在

区名	収納金額	区名	収納金額	区名	収納金額	区名	収納金額
田中地区		王子平	36,000	田 沢	212,000	白 樺	44,000
加 沢	314,000	小 計	1,500,000	大 川	143,000	切久保	70,000
常 田	506,000	祢津地区		栗 林	183,000	八反田	45,000
田 中	416,000	新 張	集計中	海善寺	204,000	本下之城	38,000
県	226,000	出 場	92,000	曾 根	198,000	田之尻	32,000
本海野	324,000	金 井	154,000	東深井	126,000	畔 田	59,000
西海野	115,000	新 屋	195,000	西深井	32,000	宮	45,000
白鳥台	109,000	東 町	196,000	西 入	26,000	南 部	81,000
城ノ前	120,300	西 宮	230,000	東 入	13,000	北 部	85,000
小 計	2,130,300	姫子沢	36,000	日向が丘	101,000	布 下	82,000
滋野地区		湯の丸	3,000	海善寺北	154,000	常 満	25,000
赤 岩	100,000	滝の沢	12,000	寺 坂	12,000	島川原	78,000
片 羽	201,000	祢津南	58,000	陸	33,500	大日向	53,000
桜 井	260,000	伊勢原	49,000	小 計	1,842,500	光ヶ丘	15,000
大 石	255,000	奈良原	43,000	北御牧地区		羽毛山	99,000
中屋敷	158,000	鞍掛自治区	18,000	上八重原	113,000	牧ヶ原	1,000
別 府	68,000	リードリ-くらかけ	30,000	田楽平	26,000	小 計	1,363,000
原 口	178,000	小 計	1,116,000	中八重原	82,000	合 計	7,951,800
聖	40,000	和地区		下八重原	234,000		
乙女平	204,000	東上田	405,000	芸術むら	56,000		

『おらほのサロン』

布下区

邦楽演奏とマジックショーで盛り上がりました

9月4日、布下区は高齢者センターでいきいきサロンを開き、約30人が参加しました。田中良彦福祉運営委員長のあいさつに続きステージ発表が行われました。

邦楽演奏では地元出身の生田流箏者、木島雅香（芳江）さんとその門下社中の皆さん5人で、「故郷」など6曲を演奏しました。後半は千曲市の近藤さん他2人によるマジックショーで大いに楽しみ、最後は全員揃って昼食をとり楽しいひと時でした。



邦楽演奏を楽しむ皆さん

桜井区

フラダンスと手作り料理を楽しみました

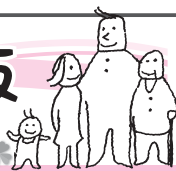
桜井区では6月6日にいきいきサロンが開催され、30人近い参加者が桜井公民館に集まりました。会場のテーブルの上には福祉運営委員が手作りした料理が並び、会場のあちこちで「これ、おいしいねえ!!」という声が聞かれました。また、地域のボランティアグループによるフラダンスの披露もあり、参加者の皆さんも一緒になって体を動かすなど、終

始笑顔と会話の絶えないサロンでした。



体を動かして笑顔がいつぱい!

ボランティアセンターかわら版



サマーチャレンジボランティア体験!!



8月12日に、障がいのある人や小中学生とその親などを対象とした「サマーチャレンジボランティア」が開催されました。白樺高原や長和町の黒曜石ミュージアムを訪れ、障がいの有無に関係なく、全員で協力して散策・体験を進めました。



佐藤すみれさん（小学4年）の参加した感想です
（写真中央）



私は目の不自由な方のガイドをしました。その方が連れていた盲導犬には触らないようにしました。目の不自由な方をトイレに連れて行くなど、ガイドをするのは大変でしたが、一緒に勾玉を作れてとても楽しかったです。今回参加したことで、福祉の仕事に興味がわきました。

らぶリー東御



〔アイマスク体験〕



柳澤 唯貴さん

“見えない”ということが、部分的にですが、わかりました。これからは、視覚障がいの方々が安心して移動できるように積極的に協力をしたいです。

6月から開催していた中学校の福祉に関する総合学習「らぶリー東御」が、8月で最終回を迎えました。今回は、音読やアイマスクを体験した学生に感想を聞きました。

〔音読体験〕



常田 翔矢さん

聴き取りやすいように、発音良く強弱をつけて録音しました。これからも、今日のことを参考にして、誰でも聴き取りやすい話し方を心がけたいです。



はじめの一步 — ボランティア初級講座 — ボランティアゼミナール 参加者募集

「ボランティアってなんだか大変そう…」そう考えていませんか。日ごろのささやかな心がけも、立派なボランティア活動につながる。そんなことを知る機会にしてみませんか。

	講座内容	開催日	時 間
第1回	ボランティアを知ろう (終了)	9月 1日	
第2回	むかし遊びの伝承 (お手玉等)	9月 29日	
第3回	小物 (アクセサリ) 作り	10月 7日	午後 1 時 30 分
第4回	本・絵本の読み聞かせ	11月 4日	↓
第5回	傾聴 (話し相手ボランティア)	11月 24日	午後 3 時 30 分
第6回	障がい者支援ボランティア (目の不自由な方)	12月 2日	
第7回	福祉体験学習サポーター (高齢者疑似体験)	12月 22日	

難しい事は出来ないなあ…

何の経験もないけど大丈夫かしら…

初めてボランティアをされる人も多く参加する講座です！ 出来る範囲からはじめていきましょう

❖場 所：総合福祉センター1階 ボランティアルーム2

❖募集人数：各回15人程度

❖申込締切：各開催日の2週間前までに、下記へお申込みください。

問い合わせ・申し込み先：東御市社会福祉協議会地域福祉係 ☎ 62 - 4455

～みんなでつくる ひとにやさしいまち～ **みーつけた!! まちの中の工夫**

スナップ11 「段差解消スロープ」

皆さんは街中の「スロープ」を使ったことがありますか？

スロープは、車イス利用者や高齢者しか使ってはいけない…とっていませんか？

街中にあるスロープは、障がいの有無や年齢に関係なく、必要とする誰しもが使って良い、ユニバーサルな設備です。だからこそ、出入り口に車を停めない・物を置かないなど、地域に暮らす全員が心がけておきたいですね！



社協のケアマネジャーよりみなさまへ あったかいごだより No.12



朝夕日ごとに涼しくなりましたが、
いかがお過ごしですか。

以前コラムにて介護保険の一部改正につ
いて情報をお届けしました。今回は第2弾：
8月改正の内容を紹介させていただきます。

- ◆一定以上の所得のある方は、サービスを利用した時の負担割合が2割になります。
要支援、要介護認定を受けた方に、利用者負担割合が記載された「介護保険負担割合証」が7月に発行されています。
- ◆食事・部屋代の負担軽減の基準が変わります。
- ◆高額介護サービス費の基準額が変わります。

この制度改正は団塊世代の方が、75歳以上となる2025年以降も継続可能な制度とする背景があります。

そのため、今後も様々な改正が予想されています。動向も気になりますね。

福祉の森だよ～全員集合!!

第12回 福祉の森ふれあいフェスティバル

& 東御市民病院祭

日 時 10月24日(土)

午前9時30分～午後2時

会 場 総合福祉センター、市民病院

内 容 各種体験、販売、喫茶コーナー

その他 詳しくは、10月1日発行市報とうみ「お知らせ版」を御覧ください。

《ボランティア大募集》

私たちと一緒にフェスティバルを盛り上げませんか。

前日準備 10月23日(金) 午後1時30分～午後4時
テントの設営等の会場準備

当 日 10月24日(土) 午前8時30分～午後4時
イベント会場や体験コーナーの手伝い等

申し込み 社会福祉協議会地域福祉係 ☎ 62-4455



善意を ありがとう

(7月、8月受け付け分)

匿名様	紙おむつ他
匿名様	下着
匿名様	タオル
匿名様	33,968円
匿名様	8,425円

ウエスをありがとう (7月、8月受け付け分)

花づなの会 様
堀口敏子 様
匿名様 (田沢)
あがたボランティア 様
田中としえ 様



介護者リフレッシュツアー

～いざ諏訪湖温泉へ～

在宅で家族を介護されている皆さんの心と体のリフレッシュを目的に、今年も1泊2日の旅行を計画しました。今回は諏訪方面へ出掛け、水陸両用バスツアーや諏訪大社秋宮の散策などを予定しています。この機会にぜひご参加ください。

★日 時 11月10日(火)～11日(水) 1泊2日

★行き先
・かたくら上諏訪ホテル(宿泊)
・水陸両用バスツアー(現在調整中)
・諏訪大社秋宮 など

★対象者 在宅で介護をしている家族の方
※要介護の方が、長期入所・入院をされている場合は対象外となります。

★定 員 20人

★参加費 5,000円

★集合場所 総合福祉センター2階駐車場
※送迎希望の方は、お申し出下さい。

★申込締切 10月23日(金)

お問い合わせ 社会福祉協議会地域福祉係 ☎ 62-4455

●編集後記

9月1日は防災の日で、東御市でも8月30日に防災訓練が行われました。最近では「防災」という言葉と並んで「減災」という言葉も耳にします。この減災という言葉からは「自然災害は完全に防ぐことはできない」という意識と同時に「防ぐことはできなくとも、少しでも被害を減らそう」という、人間の力強さも感じられます。この防災の日がある9月をひとつの機会として、ぜひ家庭や地域で「防災・減災」の意識を共有したいですね。

小野 紘彰